



研究報告会と公開授業を行いました

7月16日(木)飯山北高校において、平成20年度中高交流学力向上事業の研究報告会並びに公開授業を行いました。授業はつまずき調査から明らかになった課題「比」に関わって、飯山北高校1年β講座 数学I 図形と計量 三角比正接の授業を齊藤淳一教諭と篠原謙治教諭のTTで行いました。当日は、県教育委員会、飯山市教育委員会、市内小中学校、高校などから約40名のご参加をいただきました。



研究報告会で出されたご意見から

中・高が連携して地域の子どもを育てようとしているのがこの授業を通してよく分かりました。

生徒が安心して授業を受けていました。このことがすべてを物語っていると思います。

参加者

- 澤井 淳 高校教育課管理係主幹指導主事
- 松田 章利 高校教育課高校改革推進係指導主事
- 大塚 明彦 教学指導課義務教育指導係指導主事
- 山崎 裕史 教学指導課高校教育指導係指導主事
- 小池眞理子 北信教育事務所学校教育課主幹指導主事

ほか

「中高で連携すると、こんなに授業は変わるんだ」というのが感想です。中学時を思い出させたり、つまずき調査を踏まえたり、かなり効果的なのではないかと思いました。課題を生徒にやらせているときに、生徒同士が教えあっている姿が印象的でした。TTでもフォローしきれない生徒を、できる生徒がフォローする…。良い雰囲気だと思いました。

力を入れていくとよい問題、重点的に指導するとよい階層まで分析していただき、すぐに指導できそうだと思いました。飯山の全校でこの結果を受け、本気で取り組めば飯山の子もたちの学力UPに必ずなると思います。

これらの調査に共通して言えることであるが、これを、日々の実践にどう結びつけていくかということが、この調査をさらに生かしていくことにつながる。そういった点で、量的二重数直線図の提案はたいへん参考になる。子ども達のどの段階で、どのように、導入していくのがよいか、実践を通して明らかにしていけるとよい。

高校生が中学生の学習をサポート

市内中学生や保護者の要望を受けて、夏休み中の中学校の学習会に各中学校を卒業した北高生を中心にして北高チューターとして参加し、学習等のサポートをしました。

量的二重数直線図について、次号でオリジナル教具紹介と実践報告をする予定です。

高校生の声

- ・人に物を教える喜びを知りました。「あっ分かった！」って言ってもらえたときの笑顔が何気にうれしかったです。
- ・説明が苦手なので困った。言葉で説明しなければいけないことに苦労した。
- ・人に教えることで自分でも再確認できてよかったです。

- 飯山第一中学：8月17・18日
 - 飯山第二中学：8月17・18日
 - 飯山第三中学：8月3・20・21日
- とそれぞれの日程で行われました。



中学生の声

- ・自分がわからなかった問題も教えてもらったのでよかったし、これからの勉強の仕方でも教えてもらったのでよかった。
- ・北高の先輩方に勉強を教えてもらったり勉強のやり方について貴重な意見が聞けてよかった。
- ・秋以降も土日祝日などに教えてもらえるとうれしい。

